

東京大学東洋文化研究所
附属東洋学研究情報センター

平成21年度事業報告

東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター

設 立 平成 11 年 4 月 1 日
所在地 〒113-0033
東京都文京区本郷 7-3-1
電 話 03-5841-5839
FAX 03-5841-5898
URL <http://ricas.ioc.u-tokyo.ac.jp/>

現状と課題（平成 21 年度）

はじめに

東洋学研究情報センター（Research and Information Center for Asian Studies、以下、センターと略）は、東洋学文献センター（1966 年設置）に代わる東洋文化研究所の附属施設として、平成 11（1999）年 4 月 1 日に新設された。センターは、研究所が行うアジアに関する先端的な研究と連動し、またその成果を踏まえながら、アジア全域を対象とする「アジア資料学」の確立を目指している。具体的には、「アジア地域の人文・社会科学（文献・造形資料、現代的諸課題）に関する資料・情報の収集・研究とその情報化」に関する事業を担っている。

センターの研究分野は、造形資料学分野、比較文献資料学分野及び 2009 年度から増設されたアジア社会・情報分野に分かれる。造形資料学分野は、美術作品・建築・考古資料・民族学資料・地図・挿絵・映像・写真等の非文字資料を、比較文献資料学分野は、アジア諸言語で書かれた書籍、新聞雑誌、文書、碑文等の文字資料を、アジア社会・情報分野は、アジア・バロメーターなどのデジタル化された社会調査資料を研究対象とする。センターの教員スタッフは、造形資料学分野担当の教授 1・准教授 1、比較文献資料学分野担当の教授 1・准教授 2、アジア社会・情報分野担当の教授 1・准教授 2・助教 1 からなる。

また、上記の文献・造形資料学の研究に加えて、新たにアジア研究に関する情報を収集・整理・蓄積・公開することを目指す研究情報プロジェクトを平成 15 年度から開始した。こうした新事業の展開を通じて、研究所が行うアジア各地域・各分野に関する先端的な研究を支えるアジア資料学の構築に加え、アジア研究情報を収集・加工・発信する研究情報センターとしての機能がさらに強化され、また学界や社会に対して大きな貢献がなされることが期

待されている。

平成 15 年度から、新たに外部資金を戦略的に投入することによって事業の拡大・充実を行い、さらに、文部科学省科研費などにより実施された一般プロジェクトとも連動して、包括的な内容を持つアジア資料学の構築を目指した事業を実施した。(個別のプロジェクトについては別表参照)

平成 21 年度は、各データベースにおいて追加入力等を行い、その成果をセンターのウェブサイト上で公開した。

成果普及活動としては、漢籍整理長期研修を実施するとともに、ニューズレター『明日の東洋学』と文献目録資料『東洋学研究情報センター叢刊』を刊行した。また、全国文献・情報センター長会議等へ参加し、学内外の関係機関との交流を深めた。

A 人員・施設

1. 教職員

研究情報センター長	教授	羽田 正
研究情報センター	教授	丘山 新
	教授	梶屋 友子
	教授	園田 茂人
	准教授	板倉 聖哲
	准教授	名和 克郎
	准教授	廣田 輝直
	准教授	松田 康博
	准教授	スミス ロジャー・デール
	助教	松田 訓典

2. 施設

現在面積

教育・研究施設	6, 502 平方米
設備室等	110 平方米
計	6, 612 平方米